再評価結果（平成２１年度事業継続箇所）

担　当　課：北陸地方整備局 地域道路課
担当課長名：渡部　長務

事業名	一般県道 姫野能町線（ひめのうまち）	事業区分	地方道	事業主体	富山県
起終点	自：富山県高岡市中曽根（たかおか なかそね） 至：富山県高岡市能町（たかおか のうまち）			延長	２．０ｋｍ

事業概要

本事業は、庄川渡河部の橋梁(牧野大橋（仮称）L=405m)を含み、(主)新湊庄川線から(主)高岡環状線までの2.0kmの区間にバイパスを整備するものである。

県西部の中心都市である高岡市と旧新湊市(現射水市)とを結び、庄川渡河部の慢性的な渋滞の緩和と、特定重要港湾伏木富山港から高規格幹線道路へのアクセス向上を図ることを目的とし、整備を進めている。

H11年度事業化 (H13補助採択)	S41年度都市計画決定 (H15年度変更)	H12年度用地着手	H13年度工事着手

全体事業費	１１６億円	事業進捗率	６９％	供用済延長	０ｋｍ
計画交通量	１２，５００ 台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用	総便益	基準年
	(事業全体) １．５ (残事業) ３．９	(残事業)/(事業全体) ４２／１１２億円 事　業　費：41/111億円 維持管理費：0.95/0.95億円	(残事業)/(事業全体) １６６／１６６億円 走行時間短縮便益：138/138億円 走行経費減少便益：22/22億円 交通事故減少便益：6.2/6.2億円	平成２０年

感度分析の結果
○交通量変動：3.5(-10%)～4.3(+10%)　○事業費変動:3.6(+10%)～4.4(-10%)
○事業期間変動：3.9(+20%)～4.0(-20%)　※残事業を対象

事業の効果等
・円滑なモビリティの確保（高岡市と射水市間の庄川渡河部付近の慢性的な渋滞の解消）
・物流効率化の支援（特定重要港湾伏木富山港へのアクセス向上）

関係する地方公共団体等の意見
・高岡市長及び射水市長等で構成される「能町作道間道路整備促進期成同盟会」が設置されている。
・毎年、高岡市等から事業促進の要望書が提出されている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
・本事業地の東側の高岡市中曽根地区で、平成15年度に区画整理事業が着手(H25年度完了予定)。

事業の進捗状況、残事業の内容等
・用地･補償については、H20年度に電力鉄塔移設の契約を終え、ほぼ完了。
・工事については、庄川右岸取付部の道路改良工事がほぼ完了している。庄川橋梁部(牧野大橋(仮称))は、H16年度に下部工工事に着手し、H21年度に下部工工事が完了予定で、H21年度に上部工工事に着手予定。また、同左岸取付部はH20年度から工事着手した。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
・用地取得した大規模な工場敷地内の土壌に、一部環境基準を超える物質があることが確認されたため、その影響を考慮した当該工事の施工方法の検討に不測に日数を要ししたため。
・今後の事業の見通しについては、前述の検討をH19年度に終えていることから、特に阻害要素はなく、順調に進捗できるものと考えている。

施設の構造や工法の変更等
・道路線形の見直しにより、大規模な物件補償を避け、補償費の軽減を図っている。
・他工事の発生土砂を盛土材に利用し、建設発生土の縮減･コスト縮減に努めている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由
・残事業は阻害要素が少なく、順調に進捗できる。

事業概要図

事業中 ■■■■■

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。